

I. 地区の概要

当地区は、越前市の東側に位置し、農業用水は鞍谷川および日野川用水を取水源とする中山間地域であり、元号「令和」の出典となった万葉集とも関わりが深く、味真野を舞台にした 63 首の唄が収められており、また、かつて製茶業が盛んであった頃に唄われていた歴史風土の中で生まれた貴重な民謡「味真野茶揉み唄」の良さが見直され、再び唄われるようになる等、古から続く万葉の里「味真野」の賑わいを、次世代に良好な状態で継承できるよう、地域資源や農村環境の保全を地域ぐるみで行っている。

◇活動内容	農地維持 資源向上（共同） 資源向上（長寿命化）	◇取組面積	田 362ha 畑 4ha
◇集落数	15 集落	◇組織の構成員	農家戸数 362 戸 非農家戸数 487 戸 参加団体 51 団体 自治会、武生味真野土地改良区、武生鞍谷土地改良区 農業団体 6 団体、農業以外 42 団体

II. 主な取り組み

【農地維持】

◆当地域では、営農法人 5 組織、集落営農 5 組織、新規就農者 4 名を含む認定農業者 18 名が営農活動を担い、協定参加集落が地域ぐるみで草刈りや泥上げ等の維持管理作業および農村環境保全活動を担う体制を築いており、非農家との地域コミュニティの形成に取り組んでいる。

◆草刈り作業の負担軽減を図るため、営農組織と連携したモアを使用した機械化を図るとともに、活動組織の広域化を契機に、営農体制の合併等を含め、強い地域農業体制を目指し検討を行っていきたいと考えている。



【資源向上（共同）】

◆地域全域で、農業者以外の団体が参加した、水路や農道への不法投棄物（空き缶等）の除去や景観植物の植栽活動を実施。

中でも、小学生を対象に実施したシバザクラの植栽体験では、参加した小学生の思いが、越前市子ども会育成連絡協議会の広報誌に記載され、広報活動にも寄与している。

◆毎年度、味真野小学校の 5 年生を対象に伝統的農法による農業体験（田植え・案山子づくり・稲刈り）を実施している。自治振興会、保護者会（祖父母を含む）とも連携しており、学校教育および世代間交流の場として定着している。



【資源向上（長寿命化）】

◆協定参加集落から長寿命化対策が必要な施設の要望を徴収し、要望内容のヒアリングを経て、他事業での実施、直営施工での実施を整理した上で、実施計画を取りまとめ、一定規模での施工を行うことで計画的かつ効果的な長寿命化対策を行う体制。

集落要望を取りまとめる過程で、地域内の多くの水路の補修・更新が顕在化したことから、土地改良事業での用排水路の整備と味真野茶の栽培拡大のための茶畑の造成行うべく、新規採択に向けて計画 중이다。

STEP I	集落要望の徴収	変更・追加は随時徴収
STEP II	要望内容の聞取り	随時、聞取り
STEP III	他事業との整理	
STEP IV	実施計画の作成	必要の応じ毎年度見直し
STEP V	設計・工事発注・完成検査	施設管理者・集落立会い

